



隊友四街道支部便り



令和8年7月号 支部事務局
副支部長：奥村（090-8728-7838）

【進化する自衛官の処遇改善施策！】

総理大臣を議長とする関係閣僚会議において、令和6年12月「自衛官の処遇、勤務環境の改善及び新たな生涯設計の確立に関する基本方針」が取りまとめられました。この基本方針に基づき、以下の取組が実施されてきたところです。令和8年4月以降の取組は次の通り

- 処遇改善等の経費として令和7年度の約1.5倍になる5814億円を計上して推進
- 若年定年退職者給付金の給付水準の引上げ、若年定年退職自衛官の就職援護を65歳まで可能にする法律の改正案を国会に提出。生活・勤務環境の改善を更に推進
- 自衛隊創設約70年間一度も見直しが実施されなかった自衛官の給与体系を改定予定
定年延長、再就職先の拡充等の推進

～ before ～

～ after ～



四街道市役所が全面開庁！



撮影：曾我俊成（スタジオハウス）

四街道市役所が7月21日（火）に全面開庁しました。新たに開庁する本館2号棟1階にはラウンジや、市政情報を閲覧できる情報コーナーが設置され、また本館3号棟1階は多目的スペースとなり、市民活動を実施する場として活用が可能になるようです。全面開庁に伴い、本館1号棟の一部の執務室と教育委員会、青少年育成センターは本館2号棟と3号棟に移転します。市役所を訪れる際は事前に市ホームページ等で事前に確認されることしをお勧めします！

【サッカーW杯で初めて知ったカボベルデ！】



サッカーW杯では日本代表が健闘して我々日本人に力を与えてくれました。そして驚きもありました。皆さん「カボベルデ共和国」をご存知でしたか？一体どんな国？なぜこんなに強かった？人口約60万人の小さな島国が世界最高峰の舞台で強豪国相手に互角に戦った根源は何なのか？約600年間ポルトガルの植民地だった関係で欧州育ちの選手が多い、小国だからこそその挑戦する姿勢...が挙げられていますが、最も注目すべきは同国特有の精神文化である「モラベザ」が生む団結心だと言われています。「モラベザ」とは「他者への思いやりや温かさ」の価値観であり、選手同士の結束や相互理解を何よりも重視する精神。極めて日本的であり強い共感を持ちました。やはり日本人に根付いた「和」の精神の尊さ及び強さを改めて感じたW杯でした。（事務局談）

各種イベント案内及び皆様へのお願い！

○下志津駐屯地「THE下志津夏まつり（花火大会）」が開催されます！

8月4日（火）に開催、一般開放ですので会員の皆様も是非ご参加下さい。

○千葉県隊友会が担当し10月に開催される「関東甲信越静岡ブロック会議」は現在県本部を中心に実施計画が検討されています。状況によっては今後、四街道支部が支援すべき活動も含まれてくる事も考えられます。その際、支部会員の皆さんにはご支援、ご協力を宜しくお願い致します。実施時期は10月15日（木）～16日（金）です。

次回の役員会：8月22日（土）0900～1000 ※大日萱橋台区自治会館